

連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくろう!!

労福協だより

秋号
Shizuoka Rofukukyo Datoryu
Autumn
(一社)静岡県労働者福祉協議会

全労済県本部代表者会議

県知事への要望書提出

第9次 浙江省総工会特別友好訪日団来静

国際協同組合年育林作業

ロッキー奨学金授与式

地域・地区拠点開設

福祉基金(ALWF)協会からのお知らせ

シリーズ 運動継承!

事業団体職員・労福協役員へ

贈る言葉

地区労福協事務局長の
リレートーク No.10

人物登場





静岡県労福協の吉岡理事長は連合静岡と共に8月30日に県庁内で川勝知事と面会し、例年行っている「対県要請」を行いました。

今年度の対県要請は、県労福協・労働金庫・県生協連・福祉基金協会から提出され、県労福協で取り纏めをしました。

県労福協からの要請項目は、①消費者教育推進法による消費者教育推進地域協議会設置を各市町に指導すること。尚、協議会には我々の代表者を参画させるよう併せ指導されたい。②勤労者共済会・サービスセンターの会員拡大の取組み支援・協力されたい。労働金庫からは③地域役立事業の支援を要請。④「ライフサポートセンターしづおか」に対する積極的な行政支援をされたい。県生協連からは⑤静岡県食の安全・安心推進条例(仮称)を制定されたい。福祉基金協会からは⑥フードバンク活動に対する支援を要請。

①の項目は2013年度県労福協活動方針に基づき、県下統一の行政要望として各地区労福協の行政要望にも盛り込む事となっています。

また、ここ数年の要請で県労福協は静岡県民の為の民間セーフティーネットとして各福祉事業団体と連携し、事業と運動に取り組んでおり、静岡県にはその活動を県広報誌等を通じて県民へ広く知らせて欲しいと要請してきました。その要請に対し静岡県からは、「公益性の高い事業について、より積極的に広報していきたい。そして、福祉事業団体等民間非営利部門の活動が健全に発展していく事が、公益の増進に寄与すると考えている。」とこれまでの要望に対して回答がされています。今回も引き続き行政による広報支援を要請しました。多くの県民に役立つ福祉事業団体を積極的にPRして頂きたいと思います。



今年度の要請活動の様子



静岡県へ提出した要請書

全労済県本部代表者会議・静岡労済総代会が開催



佐竹本部長

全労済県本部は7月30日第4回代表者会議と静岡労済第58回通常総代会をホテル「アソシア静岡」で総代148名(定数150名)の出席で開催されました。

議長団には富士地区代表の石川氏と磐田地区代表の鳥居氏が選出されました。

冒頭、佐竹本部長は、①創立55周年記念事業として全労済発足の原点を考えな

全労済県本部は7月30日第4回代表者会議と静岡労済第58回通常総代会をホテル「アソシア静岡」で総代148名(定数150名)の出席で開催されました。

議長団には富士地区代表の石川氏と磐田地区代表の鳥居氏が選出されました。

がら、全労済の事業体を紹介するパンフレットやDVDの作成、神戸「賀川記念館」での講演や阪神淡路大震災記念『人と防災未来センター』における体験学習などを実施した。更に、職域・地域で様々な周年記念事業の取組みを行い、100万円の社会貢献活動資金を県内の福祉団体に寄贈することになった。

②2012年度の事業状況は、自然災害共済・マイカー共済などを中心に50,944件の新規加入があったが、年度末には件数・口数とも期首割れと厳しい結果になった。

③2013年度の事業目標及び課題は職域に於いては定年後も利用出来る「生涯に亘る前進が図れるように、皆さんの従前に

わたる保障設計運動の強化と実践による事業拡大」を進め、地域に於いて『組合員満足度の向上と推進体制の強化の構築』『広告宣伝活動の充実・強化』を進めて負のスケールから何としても脱したいと考えている。「最後に、全労済静岡県本部が更なる前進が図れるよう、皆さんの従前に

勝るご理解と協力をお願いしたい。」との挨拶がありました。

引き続き、行われた審議・付議事項はすべて提案どおり満場一致で承認されました。なお、今年度は役員改選期にあたり、新たに10名の経営委員・業務検査委員が新任されました。

全労済静岡県本部役員体制			
役職名	氏名	所属団体	備考
本部長	佐竹功	全労済静岡県本部(日立アライアンス労働組合空調支部)	
執行役員	渡邊顕治	全労済静岡県本部	
経営委員	鈴木篤人	遠州鉄道労働組合	新任
経営委員	西山延正	日産労連静岡地域本部	新任
経営委員	杉山智康	巴川製紙所労働組合	新任
経営委員	山崎和義	西遠地域共済会	新任
経営委員	杉山勝利	静岡地域共済会	新任
経営委員	相馬克光	伊豆急行労働組合	
経営委員	加藤保	伊豆箱根鉄道労働組合	新任
経営委員	山本一彰	富士通労働組合沼津支部	
経営委員	阿久根真一	全矢崎労働組合裾野支部	
経営委員	芹澤寿昭	東芝キャリア労働組合	新任
経営委員	白石紀行	テルモ労働組合	
経営委員	池ヶ谷真平	鈴与職員労働組合	
経営委員	井上明彦	ジャシトライン労働組合	
経営委員	山田博明	三菱電機労働組合静岡支部	
経営委員	杉本慎司	村上開明堂労働組合	新任
経営委員	近藤雄司	AGCテクノグラス労働組合	
経営委員	小田邦浩	全矢崎労働組合大東支部	
経営委員	西尾誠	NSKワーナー労働組合	
経営委員	羽木俊明	ヤマハ発動機労働組合	
経営委員	吉川正明	スズキ労働組合	
経営委員	小久保友博	本田技研労働組合浜松支部	
経営委員	渡辺聖人	エンシュウ労働組合	新任
経営委員	白澤利浩	アスモ労働組合	
業務検査委員長	杉山俊道	ヤマハ労働組合	
業務検査委員	篠原正剛	NTN労働組合磐田支部	
業務検査委員	福田幹矢	伊豆地域共済会	新任
顧問	水谷正治	(全労済静岡県本部前理事長)	
顧問	石川太茂津	(全労済前理事長)	

国際協同組合年育林作業



富士山麓育林活動

2012国際協同組合年実行委員会の事業として2012年5月12日に富士山麓(富士宮市北山)に記念植樹を行いました。既に国際協同組合年の事業は終わっていますが、昨年植樹したクヌギ・コナラ250本が生長するまで実行委員会として、下草刈り等の保全管理が必要となります。

7月6日(土)に県労福協は県生協連、JA静岡中央会などの実行委員会の一員として清水地区労福協の皆さんの協力を得て育林活動として下草刈り作業に参加しました。

昨年秋にも下草刈りを行っていますが、雑草は人の身の丈より成長しており、クヌギ・コナラには日光も十分にあたらないような状態でした。

富士山と周辺地域で野生のシカが増殖し、被害が深刻化しています。農作物や酪農の牧草、森林植生など影響は広範囲にわたり、対策が追いついていませんが、苗木を植えた周囲は網で囲われていますので、野生鹿の食害の被害はありませんでした。

参加者は長靴、軍手で装備し、鎌も持って作業現場に入っていました。作業の最初は刈払機で大雑把に苗木の周りの雑草を刈り取り、その後に鎌を使って苗木の周りの雑草を丁寧に刈り取りました。これで日光が十分あたり苗木は大きく成長すると思います。

前日に雨が降って蒸し暑い日でしたので、少し体を動かすと汗が滴り落ちてきました。今回の参加者は約50名いました。下草刈り作業は2時間予定していましたが、参加者も多かったこともあり、1時間も掛からないうちにケガもなく、無事終了することが出来ました。清水地区労福協の皆様の下草刈り作業の協力に感謝いたします。

今後も国際協同組合年の実行委員会として定期的に富士山麓育林活動を実施しますので、各地区労福協の皆様方の協力をお願いします。

労福協ってなあ～に! 30



詳しくは[こちら](http://union-travel.co.jp)
<http://union-travel.co.jp>



第9次浙江省総工会特別友好訪日団



昨年は静岡県と中国浙江省の友好提携30周年記念の年でした。去年の秋には浙江省総工会の訪日団20名(特別訪日団・青年女性訪日団)を受け入れる予定でしたが、尖閣諸島問題に端を発した日中関係の悪化により急遽延期となってしまいました。当分相互交流は難しいかな?と誰もが思っていました。しかし6月初旬、浙江省総工会より「特別訪日団を7月に派遣したい。」との連絡が入り、県労福協はその対応に追われました。20年来続く浙江省総工会との友好親善を繋いでいきたいと静岡県労働政策課、静岡県日中友好協議会、日立アプライアンス清水事業所、各福祉事業団体等に大変なご協力を頂き、程(テイ)団長を含む6名の第9次浙江省総工会特別訪日団を無事、受け入れる事が出来ました。

今回は5日間と訪日団の日程は短くなり、駆け足での親善訪問となりました。しかし、団員のみなさんは疲れも見せず、精力的に表敬訪問や企業視察をこなしていました。訪日団受け入れにご協力頂いた関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。

ここで今回の訪日団受け入れでのエピソードを紹介します。その①今、中国では「南部鉄器」が大変なブームになっている。南部鉄器で入れたお茶は味がまろやかになるとのことです。程(テイ)団長は4つもお土産に買って帰りました。その②日本のラーメンは美味しい。今回の訪日日程の途中、団員からの要望で2回もラーメンを食べました。「ラーメンのスープが本当に美味しい!!」ラーメンの他、団員のみなさんは日本の食べ物(刺身、てんぷらなど)をどれもおいしそうに食べていました。日本の食文化がかなり浸透しているのが分かりました。

「来年、第10次の訪中団を心からお待ちしています。」との言葉を残して今回の訪日団は帰国しました。難しい日中関係が続いているが、浙江省総工会との友好親善は今後も末永く続いていって欲しいと思います。また、民間交流を通じて日本と中国の関係改善が図られる事を期待しています。(金)